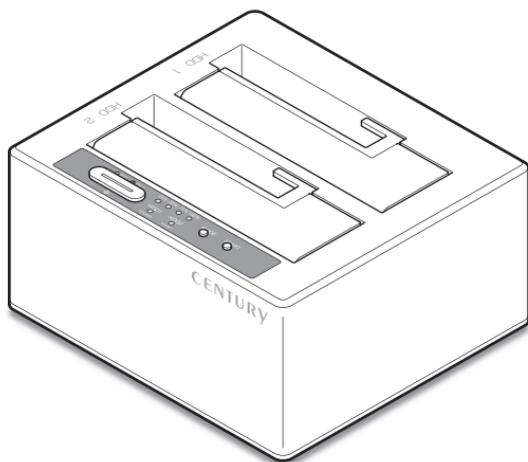


New裸族のお立ち台 DJクローンプラス USB3.0

CROS2U3CP
取扱説明書



【はじめに】

このたびはCROS2U3CPをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用前に本説明書を必ずお読みください。

【安全上のご注意<必ず守っていただくようお願いいたします>】

- ご使用前に、安全上の注意をよくお読みの上、正しくご使用ください。
- この項に記載しております注意事項、警告表示には、使用者や第三者への肉体的危害や財産への損害を未然に防ぐ内容を含んでおりますので、必ずご理解の上、守っていただくようお願いいたします。
- 次の表示区分に関しましては、表示内容を守らなかった場合に生じる危害、または損害程度を表します。



警告

この表示で記載された文章を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性を想定した内容を示します。



注意

この表示で記載された文章を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害のない物的障害を負う可能性を想定した内容を示します。

⚠ 警告

■ 煙が出る、異臭がする、異音ができる

煙が出る、異臭がする、異音ができるときはすぐに機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店へ修理を依頼されるか、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

■ 機器の分解、改造をしない

機器の分解、改造をすることは火災や感電の原因となります。
点検および修理は、お買い上げの販売店へ依頼されるか、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

■ 機器の内部に異物や水を入れない

筐体のすきまから内部に異物や水が入った場合は、すぐに機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店へ修理を依頼されるか、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

■ 湿度の高い場所、水気のある場所では使用しない

台所や風呂場など、湿度の高い場所、水気のある場所では使用しないでください。感電や機器の故障、火災の原因となります。

■ 不安定な場所に機器を置かない

ぐらついた台の上や傾いた場所、不安定な場所に機器を置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因になることがあります。そのまま使用されると火災の原因になる可能性があります。

■ 電源の指定許容範囲を守る

機器指定の電圧許容範囲を必ず守ってください。定格を越えた電圧での使用は火災や感電、故障の原因となります。

■ 電源コード、接続コードの取扱いについて

電源コード、接続コードの上上に機器本体や重い物を置いたり、釘等で固定すると傷ついて芯線の露出や断線等による火災や感電の原因になったり、機器の故障につながりますので必ず避けてください。また、足を引っかけるおそれのある位置等には設置しないでください。

■ 雷が鳴り出したら電源コードに触れない

感電したり火災の原因となります。

■ めれた手で機器に触れない

めれたままの手で機器に触れないでください。感電や故障の原因になります。

⚠ 注意

■ 設置場所に関する注意事項

以下のような場所に置くこと火災や感電、または故障の原因となります。

- 台所、ガスレンジ、フライヤーの近くなど油煙がつきやすいところ
- 浴室、温室、台所など、湿度の高いところ、雨や水しぶきのかかるところ
- 常に5℃以下になる低温なところや40℃以上の高温になるところ
- 火花があたるところや、高温の熱源、炎が近いところ
- 有機溶剤を使用しているところ、腐食性ガスのあるところ、潮風があたるところ
- 金粉、研削材、小麦粉、化学調味料、紙屑、木材チップ、セメントなどの粉塵、ほこりが多いところ
- 機械加工工場など切削油または研削油が立ち込めるところ
- 食品工場、調理場など、油、酢、揮発したアルコールが立ち込めるところ
- 直射日光のあたるところ

■ 長期間使用しない場合は接続コードを外してください

長期間使用しない場合は接続コードを外して保管してください。

■ 機器を移動するときは接続コード類をすべて外してください

移動する際は必ず接続コードを外して行ってください。接続したままの移動はコードの断線等の原因となります。

■ 小さいお子様を近づけない

お子様が機器に乗ったりしないよう、ご注意ください。けが等の原因になることがあります。

■ 静電気を与えないでください

本製品は精密電子機器ですので、静電気を与えると誤動作や故障の原因となります。

■もくじ

■はじめに	i
■安全上のご注意	i
■制限事項	1
■ご使用前に	1
■製品仕様	2
■製品内容	2
■各部の名称	3
■対応ドライブ	5
■対応機種	6
■対応OS	7
■ドライブの取り付け方法	9
■ドライブの取り外し方法	12
■PCとの接続方法	13
■電源の投入方法	14
■領域の確保とフォーマット	15
• Windows 8/Windows 7/Windows Vistaの場合	15
• Windows XPの場合	21
■ハードウェアの取り外しについて	26
■Macでの使用方法	27
■ディスクコピー機能	29
■ディスクコピーモード時のトラブルシューティング	33
■トラブルシューティング	35
■FAQ	37
■コピーモード時のFAQ	39
■サポートのご案内	43

【制限事項】

- 本製品を使用するによって生じた直接、間接の損害、データの消失等については、弊社では一切その責を負いません。
- 本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、など人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備、機器での使用は意図されておりません。このような環境下での使用に関しては一切の責任を負いません。
- ラジオやテレビ、オーディオ機器の近くでは誤動作することがあります。必ず離してご使用ください。
- 本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内での使用を前提としており、日本国外で使用された場合の責任は負いかねます。
- 本製品は2.5/3.5インチシリアルATA ドライブ専用です。パラレルATA (IDE) は使用できません。

【ご使用の前に】

- 本書の内容等に関しましては、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容に関しましては、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点や誤りなどお気づきのことがありましたら、弊社サポートセンターまでご連絡いただきますようお願いいたします。
- 本製品を使用することによって生じた、直接・間接の損害、データの消失等については、弊社では一切その責を負いません。
- Windows は Microsoft Corporation の登録商標です。
- Mac は Apple Inc. の登録商標です。
- 記載の各商品、および製品、社名は各社の商標ならびに登録商標です。
- イラストと実際の商品とは異なる場合があります。
- 改良のため、予告なく仕様を変更することがあります。

本製品はHDD/SSD等のSATAドライブをむき出しのままPCに接続するための製品です。本来、ケースなどに内蔵して使用するSATAドライブを露出したまま通電させることとなりますので、感電等の事故、およびSATAドライブへのほこりや水分等の付着には十分ご注意ください。

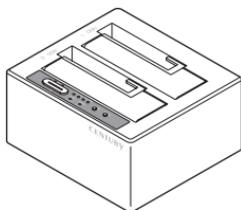
また、静電気もドライブを破壊する原因となりますので、SATAドライブの取り扱い時には静電気防止バンド等を用いて、故障の防止に努めてください。

【製品仕様】

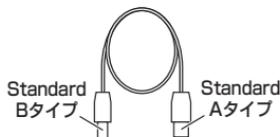
- 型番：CROS2U3CP
 - 商品名：New裸族のお立ち台DJクローンプラスUSB3.0
 - インターフェイス
 - デバイス側：SATA I/II/1.5Gbps/3.0Gbps
 - ホスト側：USB 3.0
 - USBコネクタ形状：Standard Bタイプ
 - 寸法：幅139mm×高さ69mm×奥行き126mm（突起部含まず）
 - 重量：約 500g（ドライブ含まず）
 - 温度・湿度：温度5～35℃・湿度20～80%
（結露しないこと、接続するPCの動作範囲内であること）
 - 電源仕様：[AC入力]100～240V [DC出力]12V 3A
- ※本製品にドライブは含まれておりません。

【製品内容】

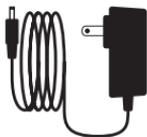
- CROS2U3CP 本体
- 専用USB3.0ケーブル
- 専用ACアダプター
- 取扱説明書/保証書（本書）



CROS2U3CP 本体



専用USB3.0ケーブル



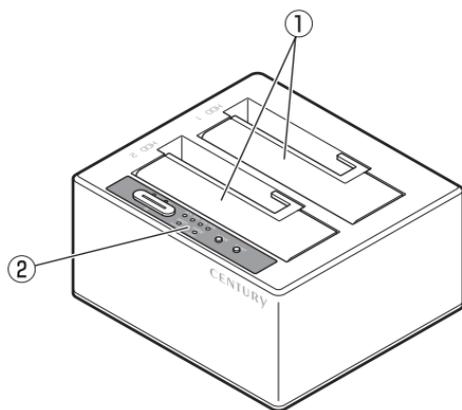
専用ACアダプター



取扱説明書/保証書

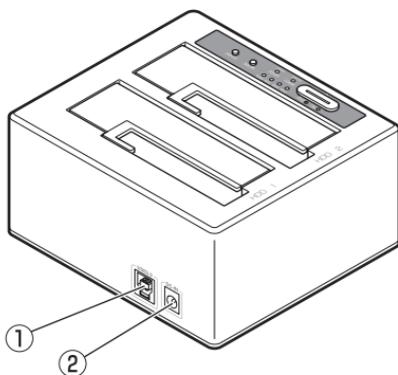
【各部の名称】

〈前面〉



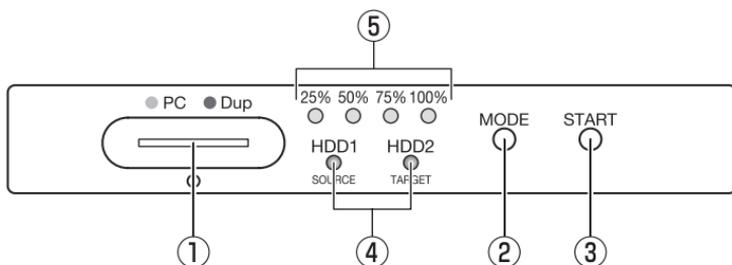
- ① ドライブ差し込み口
- ② 操作パネル
→P.4 操作パネル詳細

〈背面〉



- ① USB3.0コネクタ
- ② 電源コネクタ

〈操作パネル詳細〉



①電源ボタン

本製品の電源をON/OFFするためのボタンです。
電源ON時、中央部が青色に点灯します。

②MODEボタン

PCモードとコピーモードを切り替える時に使用します。

● PCモード（電源ボタン青色点灯時）

本製品をPCと接続して使用する際のモードです。

電源ON時は必ずPCモードになります。

→P.13 【PCとの接続方法】

● コピーモード（電源ボタン赤色点灯時）

本製品のディスクコピー機能を使用する際のモードです。

電源をONにした後、このボタンを約3秒長押しすると、電源ボタン中央部のLEDが青色から赤色に切り替わり、ディスクコピー機能が使用可能になります。

→P.29 【ディスクコピー機能】

※コピーモード時は本製品をPCに接続しても認識されません。

③STARTボタン

ディスクコピーモード時、コピーを開始する際に使用します。

④ドライブアクセスLED

ドライブ認識時、青色に点灯します。

ドライブアクセス時、青とピンク色が交互に点滅します。

⑤インジケーターLED

ディスクコピーモード時、25%単位でコピーの進行状況を示します。

コピー完了時にはLEDが全点灯となります。

【対応ドライブ】

<HDD>

■シリアルATA (SATA I / II / 3.0 / 1.5Gbps / 3.0Gbps / 6Gbps) 仕様の 2.5インチ/3.5インチHDD

※本製品はSATA 6GbpsのSATA HDDが接続可能ですが、インターフェイス側がUSB3.0のため、転送速度はUSB3.0の上限速度となります。

※4TBまでのHDDで動作確認を行っております。(2014年2月現在)

対応HDDの最新情報はサポートセンターにお問い合わせください。

また、Windows XP はOSの制限により、2TB以上のHDDは使用できません。あらかじめご了承ください。

※SAS (Serial Attached SCSI) HDDは使用できません。

※3.3V駆動の2.5インチHDDは動作しません。

<SSD>

■MLCタイプの5V駆動2.5インチSATA SSD (SATA I / II / 3.0 / 1.5Gbps / 3.0Gbps / 6Gbps)

※本製品はSATA 6GbpsのSSDが接続可能ですが、インターフェイス側がUSB3.0のため、転送速度はUSB3.0の上限速度となります。

※1.8インチSSDや、ZIFソケット、MicroSATA、MiniSATAおよび特殊形状のSSD (Asus EeePC内蔵のSSD等) は接続できません。

また、SLCタイプのSSDにつきましては動作保証外とさせていただきます。

<GoFlex>

■Seagate社製 GoFlex Ultra Portable Drive (14mm厚)

※上記以外のGoFlex™ドライブ、および他社製のGoFlex互換ケースには対応しませんのでご注意ください。

【対応機種】

<USB接続>

■Windows

- USB3.0インターフェイスポートを搭載したPC/AT互換機（USB3.0モード動作時）
- USB2.0インターフェイスポートを搭載したPC/AT互換機（USB2.0モード動作時）
- CPUクロック2GH / メインメモリ1GB以上推奨

※intelチップセット搭載モデル推奨

動作確認済みUSB3.0ホストインターフェイス

- | | |
|---------------------------------------|--|
| • intel Z77 チップセット内蔵 USB3.0 ホストコントローラ | • ASMedia ASM1042 USB3.0 ホストコントローラ |
| • ETron EJ168 USB3.0 ホストコントローラ | • RENESAS (NEC) μPD720200/202 USB3.0 ホストコントローラ |
| • FrescoLogic FL1100 USB3.0 ホストコントローラ | • VLI VL800 USB3.0 ホストコントローラ |

※USB3.0で接続する場合は、USB3.0ホストインターフェイスが必要になります。

従来のUSB2.0ホストにも接続できますが、その場合の転送速度の上限はUSB2.0（480Mbps）になります。

※各ホストコントローラのドライバは最新のものをご使用ください。

■Mac

- USB3.0インターフェイスポートを標準搭載したMac（USB3.0モード動作時）
- USB2.0インターフェイスポートを標準搭載したMac（USB2.0モード動作時）

※Power PC搭載のMacは動作保証外になります。

※USB3.0での動作は、USB3.0インターフェイスが標準搭載されているモデルでのみ保証します。

※USB3.0インターフェイスカード経由での動作は保証対象外となります。

【対応OS】

■Windows

- Windows 8 / Windows 7 / Windows Vista / Windows XP (32bit)

※上記以外のOSでは動作しません。

※Windows Updateにて最新の状態（ServicePack含む）にしてご使用ください。

最新ではない環境での動作はサポート対象外となります。

■Mac

- Mac OS 10.8.3 / 10.7.5 / 10.6.8 / 10.5.8 (2014年2月現在)

※製品の性質上、すべての環境、組み合わせでの動作を保証するものではありません。

本製品からのOS起動に関して

本製品はOS起動には対応しておりません。あらかじめご了承ください。

SATA ドライブの取り扱いについて

ドライブの保護のために、未使用時は本製品からドライブを取り外して保管してください。

SATA ドライブの接続コネクタにはメーカーの推奨するドライブの着脱保証回数が設定されています。

この回数を超えるとドライブとしての品質を保証できませんので、着脱する回数は必要最小限にてご使用ください。

裸族坊やセンちゃんからのお願い

裸族シリーズは、内蔵用HDDや内蔵用SSDをケースに入れず、むき出し＝裸のまま手軽に使用することを想定して作られています。しかし、内蔵用HDDや内蔵用SSDは本来とてもデリケートな精密機器です。

特に静電気やほこりに弱いので、必ず静電気の除去作業を行ってからHDD/SSDを取り扱うようお願いいたします。

また、HDD/SSDを保管する時は高温多湿を避け、静電防止袋等をご使用の上、大切に保管していただくようお願いいたします。

デリケートな
裸族を
守るのう!



【ドライブの取り付け方法】

■ドライブ接続の前に

- ドライブおよび本製品の基板部は精密機器ですので、衝撃には十分ご注意ください。
- ドライブ接続の際には、静電気に十分注意してください。
人体に滞留した静電気が精密機器を故障させる原因になることがあります。
作業の前に、金属のフレームなどに触れて放電するか、静電気防止バンドなどをお使いください。

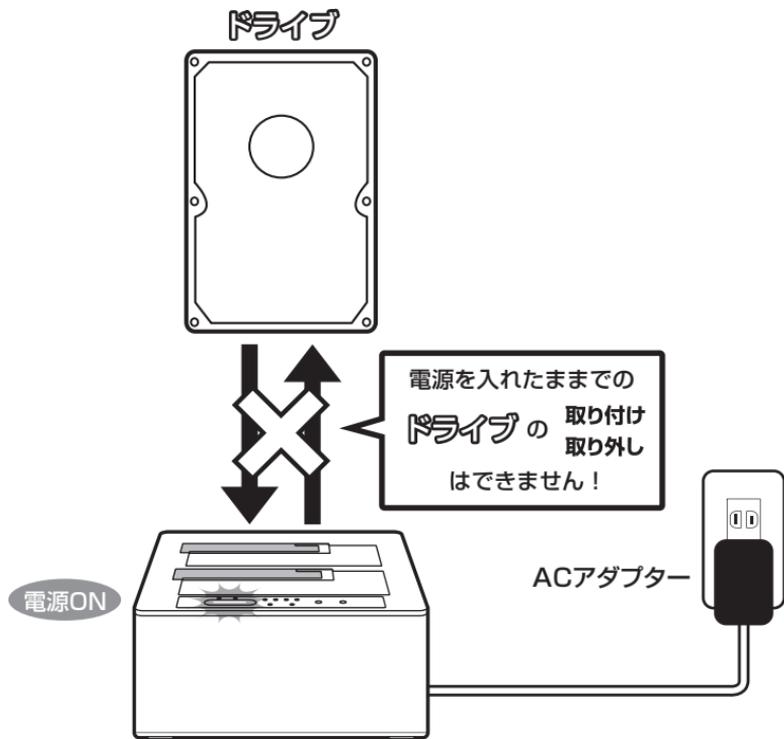
※注意

すでにデータの入っているドライブを接続する場合は、接続時の不測の事態に備えてデータのバックアップを必ず行ってください。

⚠ 警告

■接続および電源投入の順序にご注意ください！！

- 本製品はまずドライブを接続後、電源を投入して認識する仕様となっております。
 - 本製品のみでの接続、または電源投入後の抜き差し（ホットスワップ）には対応しておりません。
- ※上記のような接続および電源投入を行うと、データの破損や本製品または接続したドライブの故障をまねく可能性がございます。

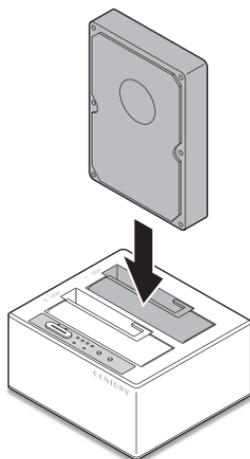


※本製品はシリアルATA(SATA)ドライブ専用です。パラレルATA(PATA)は接続できません。

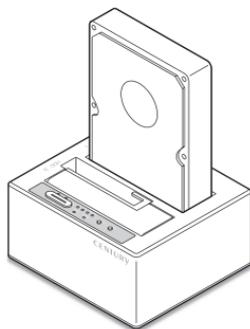


■3.5" HDDの取り付け方法

HDDのコネクタ部分を下側にし、垂直に立てた状態で「CROS2U3CP」のドライブ差し込み口にゆっくり差し込みます。



〈完成図〉

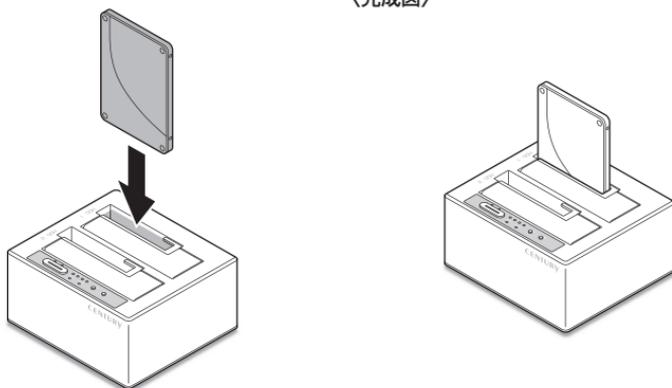


【ドライブの取り付け方法】（つづき）

■2.5" HDD/SSDの取り付け方法

HDD/SSDのコネクタ部分を下側にし、垂直に立てた状態で「CROS2U3CP」のドライブ差し込み口にゆっくり差し込みます。

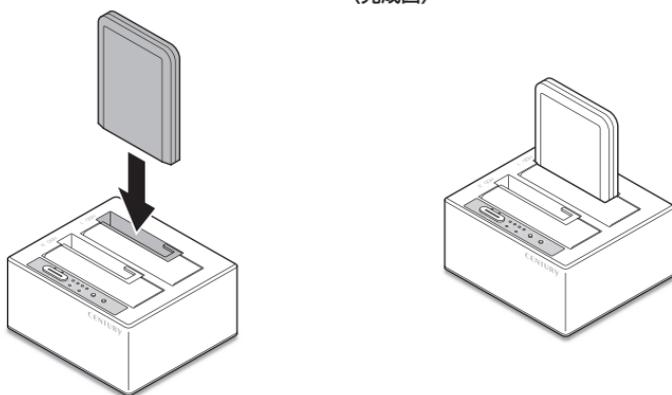
〈完成図〉



■GoFlexの取り付け方法

GoFlexのコネクタ部分を下側にし、垂直に立てた状態で「CROS2U3CP」のドライブ差し込み口にゆっくり差し込みます。

〈完成図〉



■注意！

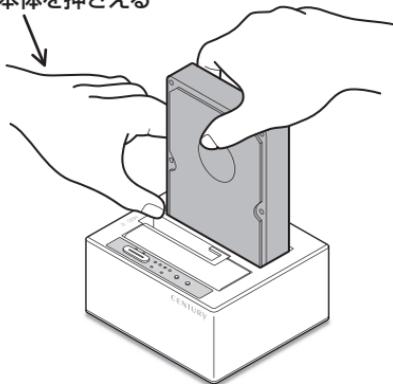
ドライブを取り付ける際には、必ずドライブに手を添えて行ってください。
手を添えずに取り付けを行うと、ドライブのコネクタを破損するおそれがあります。

【ドライブの取り外し方法】

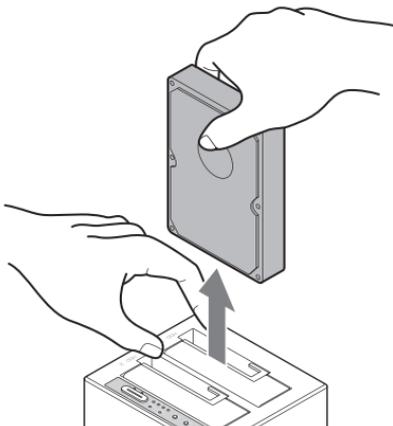
※本製品はSATA ドライブのホットスワップには対応しておりません。
ドライブを取り外す際は、必ず電源をOFFにしてから行うようにしてください。

1. 本製品を押さえながら、ドライブをつかみます。

片方の手で本体を押さえる



2. そのままゆっくりと垂直にドライブを取り外します。

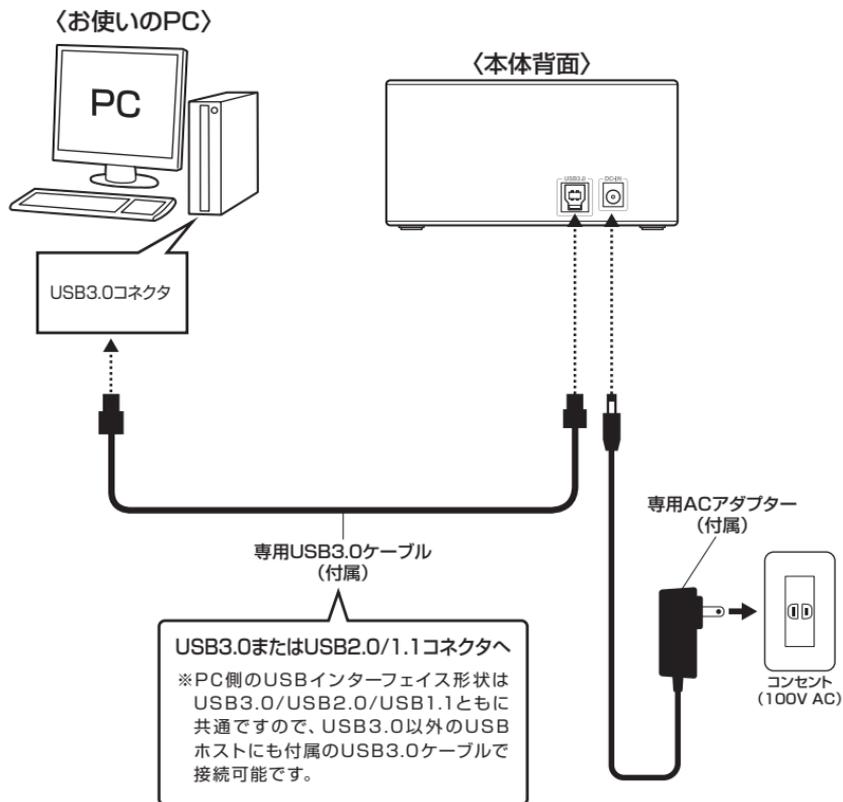


■注意！

ドライブを取り外す際には、必ず本体とドライブに手を添えて行ってください。
手を添えずに取り外しを行うと、本体やドライブのコネクタを破損するおそれがあります。

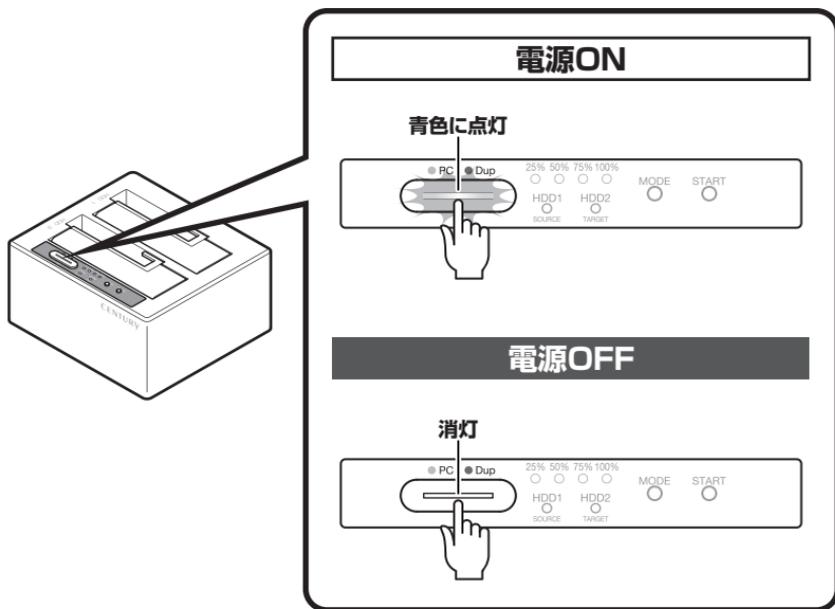
【PCとの接続方法】

本製品をコンセント電源とお使いのPCに接続すれば、使用の準備は完了です。



【電源の投入方法】

電源スイッチはいちど押すと電源がONになり、電源ONの状態でもういちど押すと電源がOFFになります。



※電源OFF→電源ONを行うときは、電源をOFFにしたあと**5秒程度待つ**てから電源をONにしてください。

【領域の確保とフォーマット】

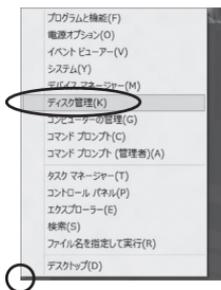
注意：この説明では、HDDにパーティションを分割しない設定で領域を確保する操作を説明しています。

細かく分割する操作に関しては、Windowsのヘルプや参考書を参考にしてください。

※この手順どおりに処理を行うと、HDDのフォーマットを行ってHDD内に入っているデータを消去します。消したくないデータが入っている場合は、領域の確保とフォーマット処理は行わないようにしてください。

■Windows 8/Windows 7/Windows Vistaの場合

1.



□Windows 8

画面左下を**右クリック**し、「ディスク管理」を開きます。

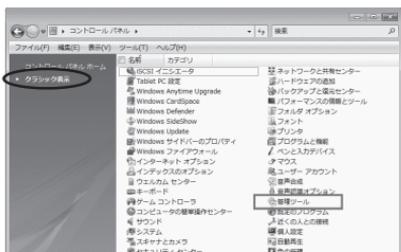
その後は手順.3にお進みください。



□Windows 7

【スタート】→【コントロールパネル】→【表示方法：小さいアイコン*】→【管理ツール】を開きます。

※コントロールパネルを開いても【小さいアイコン】または、【クラシック表示】にしないと管理ツールが表示されませんのでご注意ください。



□Windows Vista

【スタート】→【コントロールパネル】→【クラシック表示*】→【管理ツール】を開きます。

※コントロールパネルを開いても【小さいアイコン】または、【クラシック表示】にしないと管理ツールが表示されませんのでご注意ください。

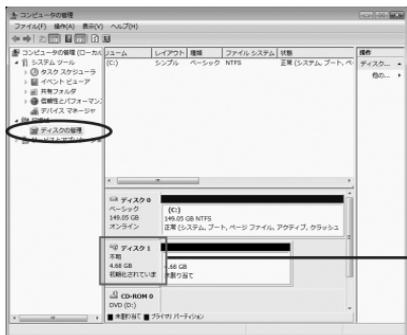
2.



【管理ツール】の中の【コンピュータの管理】を開きます。

※このとき【ユーザーアカウント制限】ウィンドウが表示されます。【続行】をクリックしてください。続行できない場合は、ユーザーに管理者としての権限がありません。システムの管理者にご相談ください。

3.



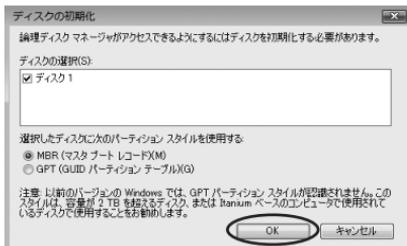
【コンピュータの管理】の【ディスクの管理】を選択すると、接続したディスクが【初期化されていません】と表示されています。そこを右クリックして表示されるポップアップメニューから【ディスクの初期化】を選択します。

ディスクの初期化(I)

プロパティ(P)

ヘルプ(H)

4.



【ディスクの初期化】ウィンドウが表示されます。

先ほど選択したディスクで間違いのないかを確認して【OK】をクリックします。

※パーティションスタイルについて

2TB以上の容量を扱う場合はGPT形式をお勧めします。MBR形式の場合、1パーティションサイズの上限が2TBとなってしまいます。

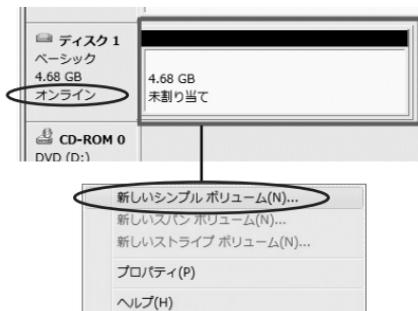
GPT形式は、Windows 2000やWindows XP等では読み書きすることができません。

また、ハードウェアの仕様によって、2TBを超える容量が扱えない場合もございます。

GPT形式であれば2TBを超える容量が扱えるわけではないことに注意してください。

【領域の確保とフォーマット】

5.

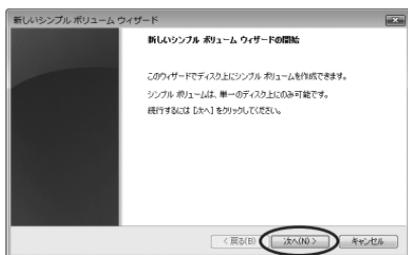


【ディスクの初期化】が完了するとディスクの状態が【オンライン】に変わります。

この状態ではまだ使用できませんので、ボリュームを作成してフォーマットする必要があります。

ディスク名の表示の右側の、容量が表示されているところを【右クリック】すると、ポップアップメニューが表示されますので【新しいシンプルボリューム】を選択します。

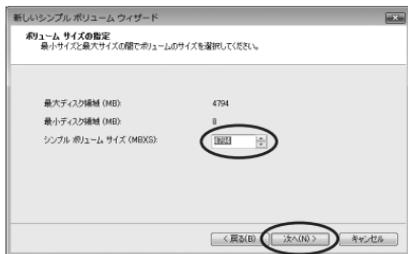
6.



【新しいシンプルボリュームウィザード】が表示されます。

設定する箇所はありませんので【次へ】をクリックします。

7.



【ボリュームサイズの指定】が表示され
ます。

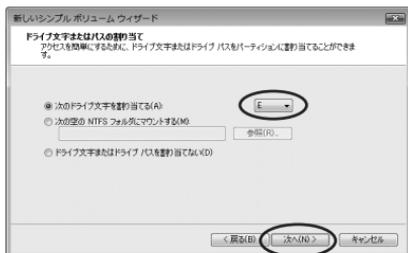
MB (メガバイト) 単位でボリューム
サイズを指定します。

ここで指定したサイズがパーティション
サイズとなりますので、任意の数値を
指定してください。

特に指定しなければ最大容量で設定され
ます。

設定したら【次へ】をクリックします。

8.



【ドライブ文字またはパスの割り当て】
ウィンドウが表示されます。

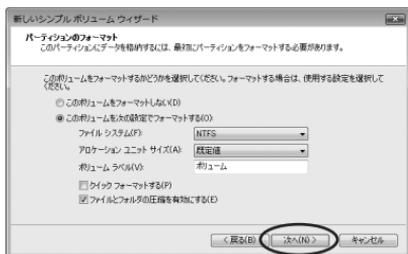
ドライブ文字は、マイコンピュータや
エクスプローラで割り当てられるドライブ
のアルファベットです。通常、Cが起動
ドライブで以降アルファベット順に割り
当てられます。特に指定がなければ空い
ている割り当て番号のいちばん若いアル
ファベットが割り当てられます。

【次の空のNTFSフォルダにマウントする】と【ドライブ文字またはドライブパスを割り
当てない】は通常使いませんので選択しないでください。

こちらの機能を選択する場合は、Windowsの説明書、ヘルプ、参考書籍等をご参照ください。

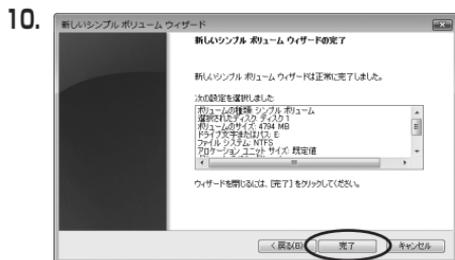
【領域の確保とフォーマット】

9.



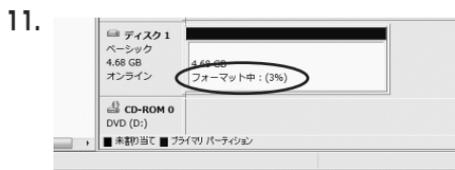
【パーティションのフォーマット】
ウィンドウが表示されます。

- **ファイルシステム**
NTFSを選択します。他のファイルシステムは使用しないでください。
 - **アロケーションユニットサイズ**
パーティションのアロケーションユニットサイズを指定します。特に使用するアプリケーション等の指定がない限り、規定値を選択します。
 - **ボリュームラベル**
マイコンピュータ等から表示されるボリュームラベルを設定します。
 - **クイックフォーマットする**
このチェックボックスを有効にすると、フォーマットする際にクイックフォーマットでフォーマットを行います。
通常のフォーマットと違い、ディスクの全領域をベリファイしませんので、時間がかからない代わりに、不良セクタ等の代替も行われません。
お使いのディスクの状態に合わせて選択してください。
 - **ファイルとフォルダの圧縮を有効にする**
このチェックボックスを有効にすると、ファイルとフォルダの圧縮が有効になります。
通常よりも大きな容量を使用できるようになりますが、パフォーマンスの面では圧縮されていない状態よりも劣ります。
一部のアプリケーションではこの設定が推奨されていないこともありますのでご注意ください。
- 設定が終わりましたら、【次へ】をクリックします。



【新しいシンプルボリュームウィザードの完了】ウィンドウが表示されます。

テキストボックスの設定を確認して【完了】をクリックするとフォーマットが開始されます。



これでフォーマットの作業は完了です。ディスクの管理の容量表示ウィンドウには、フォーマット完了までの進行状況が表示されます。

フォーマットが完了すると、マイコンピュータにディスクが表示され、使用可能になります。



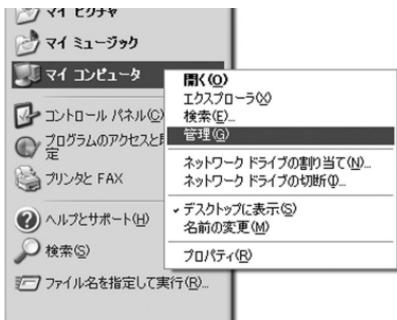
フォーマット中にディスクにアクセスしようとする警告が表示されますが故障ではありません。フォーマット中は、PCや本製品の電源を切ったり、ケーブルを取り外したり、Windowsを終了しないでください。故障の原因となります。

【領域の確保とフォーマット】

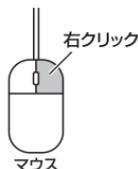
■Windows XPの場合

注意：フォーマットにはアドミニストレータ権限を持っているユーザでログインして行ってください。

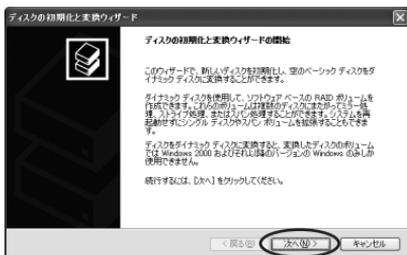
1.



スタートメニューのマイ コンピュータを「右クリック」で開き「管理」を選択します。「コンピュータの管理」ウィンドウが開きます。



2.



「コンピュータの管理」ウィンドウの「ツリー」の中から「ディスクの管理」を選択すると、「ディスクのアップグレードと署名ウィザード」が表示されます。「次へ」をクリックします。

3.



「署名するディスクの選択」ウィンドウが表示されます。署名するディスクにチェックを入れて「次へ」をクリックします。



「ディスクのアップグレードと署名ウィザード完了」ウィンドウが表示されます。
「完了」をクリックしてウィンドウを閉じます。

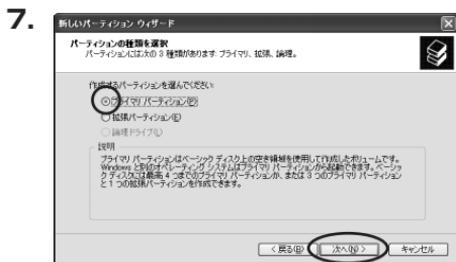


次にパーティションの作成を行います。
「未割り当て」と表示され、斜線になっているディスクがフォーマットされていないディスクですので、「未割り当て」と表示されている部分を「左クリック」で選択し、「右クリック」でメニューを開き、「パーティションの作成 (P)...」を選択します。



「パーティション作成ウィザード」が表示されます。
「次へ」をクリックします。

【領域の確保とフォーマット】



「パーティションの種類を選択」ウインドウが表示されます。

「プライマリパーティション」を選択して「次へ」をクリックします。

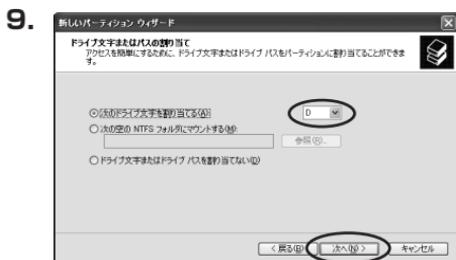
※1つのディスクを5つ以上のパーティションに分割する場合は、拡張パーティションを選択します。



「パーティションサイズの指定」ウインドウが表示されます。

「次へ」をクリックします。

※既定値は最大容量（1パーティション）ですが、複数のパーティションを作成するには、容量を減らし、「パーティション作成ウィザード」をくり返して行うことで、複数のパーティションを作成することができます。



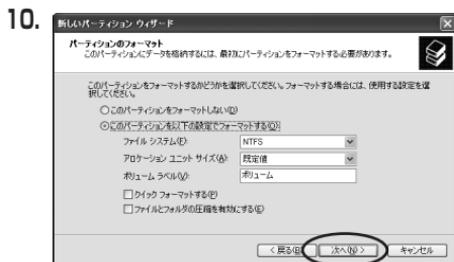
【ドライブ文字またはパスの割り当て】ウインドウが表示されます。

ドライブ文字は、マイコンピュータやエクスプローラで割り当てられるドライブのアルファベットです。

通常、Cが起動ドライブ以降アルファベット順に割り当てられます。特に指定がなければ空いている割り当て番号のいちばん若いアルファベットが割り当てられます。

【次の空のNTFSフォルダにマウントする】と【ドライブ文字またはドライブパスを割り当てない】は通常使いませんので選択しないでください。

これらの機能を選択する場合は、Windowsの説明書、ヘルプ、参考書籍等をご参照ください。



「パーティションのフォーマット」ウィンドウが表示されます。このウィンドウでフォーマット設定をすることができます。

※Windows XPでは32GBを越えるFAT32ボリュームをフォーマットすることができません。

- 使用するファイルシステム
NTFSとFAT32が選択可能です。
 - アロケーションユニットサイズ
アロケーションユニットの大きさを設定します。通常は既定値のまま変更する必要はありません。
 - ボリュームラベル
「マイコンピュータ」で表示されるボリューム名です。指定しなければ既定の「ボリューム」というボリュームラベルが設定されます。
 - クイックフォーマットする
このチェックボックスを有効にすると、フォーマットする際にクイックフォーマットでフォーマットを行います。
通常のフォーマットと違い、ディスクの全領域をベリファイしませんので、時間がかからない代わりに、不良セクタ等の代替も行われません。お使いのディスクの状態に合わせて選択してください。
 - ファイルとフォルダの圧縮を有効にする
Windowsのファイル圧縮機能を使用します。
ファイルを圧縮して格納することにより、実際の容量よりも大きく使用することが可能ですが、仕様のファイルの読み書き速度の低下をまねくようです。
詳しくはお使いのWindowsの説明書、ヘルプ、参考書籍をご参照ください。
- すべて設定して「次へ」をクリックします。

11.



「パーティション作成ウィザードの完了」ウィンドウが表示されます。「完了」をクリックして閉じます。

12.



フォーマットが開始されます。「ディスクの管理」で表示されるステータスが「フォーマット中」になります。進行状況が100%になり、ステータスが「正常」になればフォーマット完了です。使用可能になっていますので、マイコンピュータからディスクアイコンを開いてコピーなどを行ってみてください。

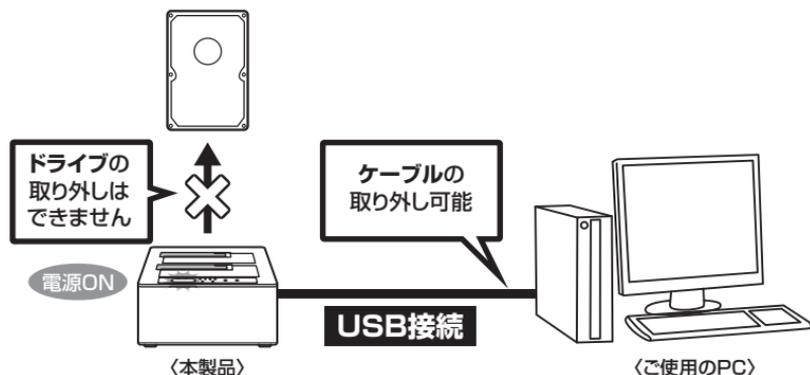


フォーマット中にディスクにアクセスしようとすると警告が表示されますが故障ではありません。フォーマット中は、PCや本製品の電源を切ったり、ケーブルを取り外したり、Windowsを終了しないでください。故障の原因となります。

【ハードウェアの取り外しについて】

本製品はUSB接続時、PC起動中のハードウェアの取り外しが可能です。

※この項で説明するハードウェアの取り外しとは、本製品とPCの接続を解除するという意味で、本製品に接続されているドライブそのものを取り外せるという意味ではありませんので、ご注意ください。



1：本製品を接続すると、タスクトレイに「ハードウェアの取り外し」アイコンが表示されます。取り外す際は「ハードウェアの取り外し」アイコンをクリックします。デバイス名は以下のように表示されます。

- Windows XP : 「USB大容量記憶装置デバイス」
- Windows Vista : 「USB大容量記憶装置」
- Windows 8/7 : 「USB to ATA/ATAPI Bridge」

2：取り外し完了のメッセージが表示されれば完了です。
電源を切ってケーブルを取り外してください。

※取り外しの詳しい手順はOSにより異なりますので、お使いのWindowsの説明書、ヘルプ、参考書籍等をご参照の上、作業を行ってください。
「ハードウェアの取り外し」の手順を経ずに本製品を取り外すと、HDDのデータが破損したり、消失するおそれがありますので、必ず「ハードウェアの取り外し」の処理を行ってください。

【Macでの使用方法】

Mac OS XでのフォーマットはOS標準の「Disk Utility」を使用します。

※あらかじめMacフォーマットを行ったHDDはそのまま使用可能です。

1.



「Disk Utility」を起動します。

※「Disk Utility」は、アプリケーション>Utilityの中にあります。
左側に接続されているフォーマット可能ディスクの一覧が表示されます。
本製品は、**[xxGB (HDDの容量) xxxxxx (HDDの型番) media]**と表示されます。
これをクリックして選択します。

2.



接続されているディスクの情報が表示されます。

3.



上の「パーティション」タブをクリックします。
パーティション設定を変更できます。

- **ボリュームの方式**
作成するボリューム数を選択します。
8つまで分割して作成することが可能です。
- **ボリューム**
メディアの分割状況が表示されます。

• ボリューム情報

ボリューム情報は「ボリューム方式」で選択されたボリューム情報を変更します。
「ボリュームの方式」で別のパーティションを選択すると、パーティションごとに設定を変更することが可能です。

• 名前

作成するボリューム名を変更できます。変更しないと「名称未設定」という名前が付けられます。

- **フォーマット**
作成するボリュームのフォーマットを選択します。「Mac OS標準」「Mac OS拡張」「UNIXファイルシステム」「空き領域」が選択できます。通常は「Mac OS拡張」を選択してください。
- **サイズ**
作成するボリュームのサイズを変更できます。
- **オプション**
「Mac OS 9ディスクドライバをインストール」のチェックをするとMac OS 9で動作するドライバをインストールします。
- **分割**
選択されているボリュームを同じ容量で分割します。
- **削除**
選択されているボリュームを削除します。
- **元に戻す**
直前の変更を元に戻します。

4.



すべて決定したら右下の「OK」をクリックします。
警告が表示されます。

作成する場合は「パーティション」を、キャンセルする場合は「キャンセル」をクリックします。

5.



パーティションが作成され、デスクトップにマウントされます。

取り外しをする場合はこのアイコンをDockの中のごみ箱にドロップします。

※HDDを複数台使用している場合、HDDは個別に取り外しを行うことはできません。
取り外しを行う際は、認識しているHDDをすべてごみ箱にドロップしてください。

【ディスクコピー機能】

本製品はPCと接続せず、単体でディスクのコピーができる機能が搭載されています。セクタ単位のコピーなので、内容を問わずディスクを丸ごとバックアップすることが可能です。

また、ファイルシステムも含めてコピーされるので、コピー先のディスクをフォーマットする必要もありません。

⚠ 注意

～ディスクコピーをご使用前に～

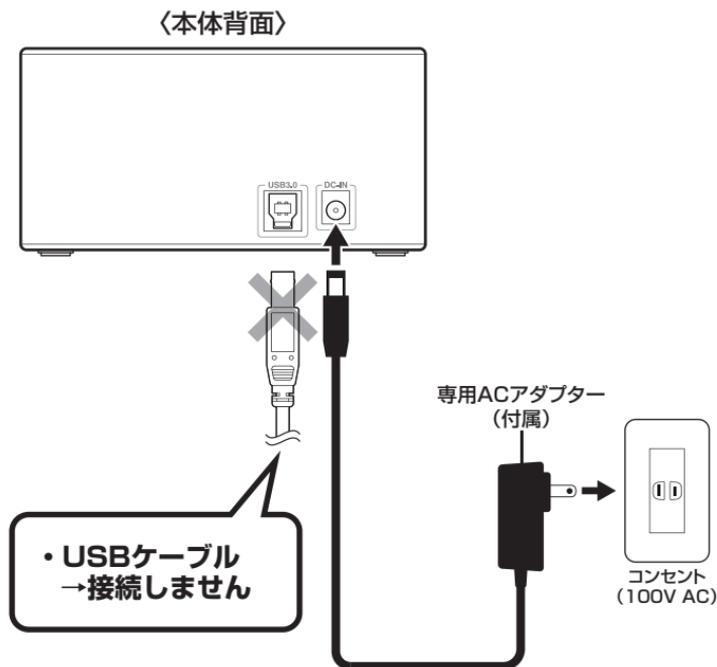
ディスクコピーを行う際、ディスクの接続場所や操作を誤ると、大事なデータがすべて消失してしまうおそれがありますので、必ず本取扱説明書の手順にしたがって、操作を行ってください。

また、このようなディスクはコピーの読み込み、書き込み双方に使用できません。

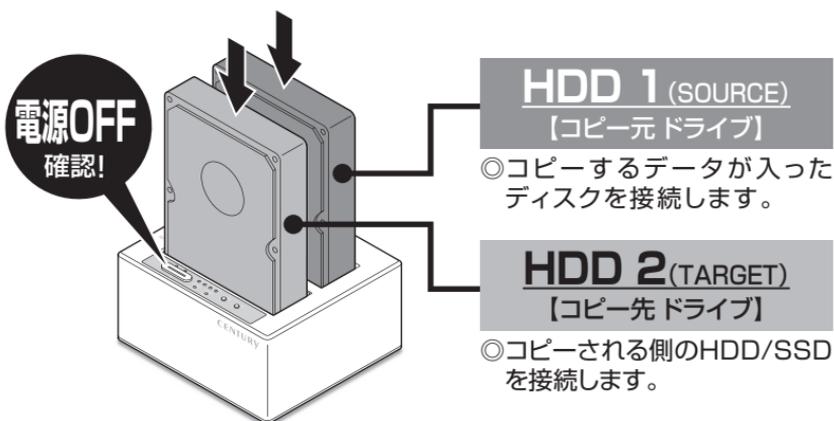
- 不良ブロック/セクタのあるドライブ
- 認識しないドライブ
- その他、動作の不安定なドライブ

■ディスクコピーの手順

1. 本製品と専用ACアダプターを接続します。
USBケーブルがPCと接続されている場合は取り外してください。



2. 電源がOFFになっていることを確認し、HDD 1 (SOURCE) スロットにコピー元のドライブを接続し、HDD 2 (TARGET) スロットにコピー先のドライブを接続します。



〈コピー元ドライブからコピー先ドライブへのデータの流れ(イメージ)〉



⚠ 注意

ドライブを接続するスロットにご確認ください。コピー元とコピー先を間違えてコピーを開始すると、コピー元のドライブの内容がすべて消失してしまいます。

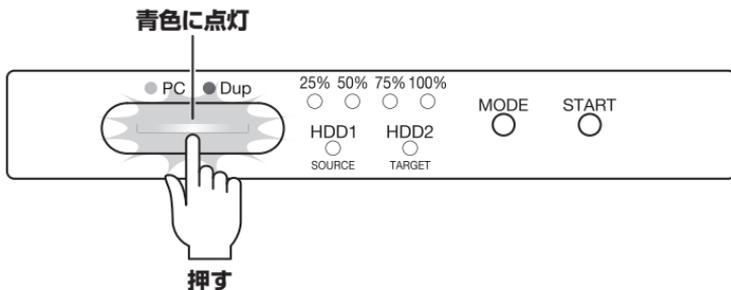
また、コピー先のドライブは必ずコピー元のドライブと同容量または大きい容量のものを接続してください。コピー元より容量が小さい場合、コピーが開始されません。

コピー元と同容量であっても、メーカーが異なる場合、容量に誤差がありコピーができない場合がありますので、同容量でコピーする場合は同メーカー・同型番のものをご使用ください。

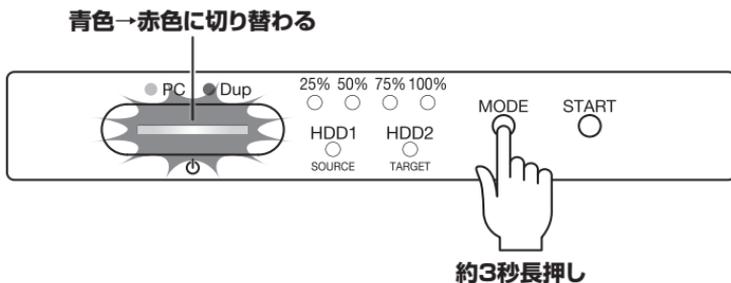
【ディスクコピー機能】(つづき)

3. 電源ボタンを押して電源をONにします (①)。
HDDの回転が安定してからMODEボタンを約3秒長押しすると、LEDが青色から赤色に切り替わります (②)。
これでコピーの準備は完了です。

①電源ON

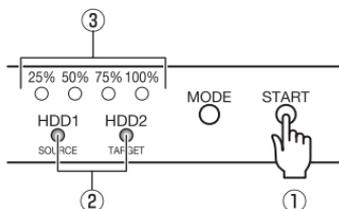


②モード切り替え

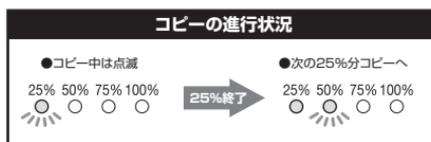


4. STARTボタンを押すと、ディスクコピーが開始します。
 HDD 1/HDD 2のドライブアクセスLEDがピンク色と青色で交互に点滅し、インジケータLEDの左のLEDが青色に点滅します。
 コピーが25%進行するとともに左のLEDから点滅→点灯に変わります。
 インジケータLEDがすべて点灯し、ドライブアクセスLEDがピンク色から青色の点灯に変わるとコピー完了です。
 ※コピーが完了しても自動的に電源が切れないので、コピーが完了したことを確認したら、電源をOFFにしてください。

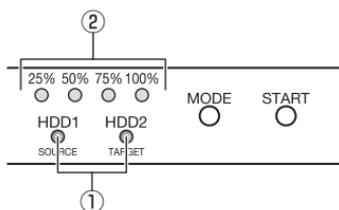
●コピー開始時



- ①STARTボタンを押す
- ②ドライブアクセスLEDがピンク色と青色で交互に点滅
- ③インジケータLEDが点滅



●コピー終了時



- ①コピー完了時、ドライブアクセスLEDがピンク色から青色点灯へ
- ②インジケータLEDが全点灯

※コピーが完了しても自動的に電源が切れませんので、コピーが完了したことを確認したら電源をOFFにしてください。

⚠ 注意

コピー中に電源をOFFにしないでください。ドライブの内容が破損するおそれがあります。

- ◎コピーにかかる時間はドライブにより異なります。

～参考～

弊社テスト環境にて1TB HDDのコピーが約160分（平均転送速度：約104MB/sec）

【ディスクコピーモード時のトラブルシューティング】

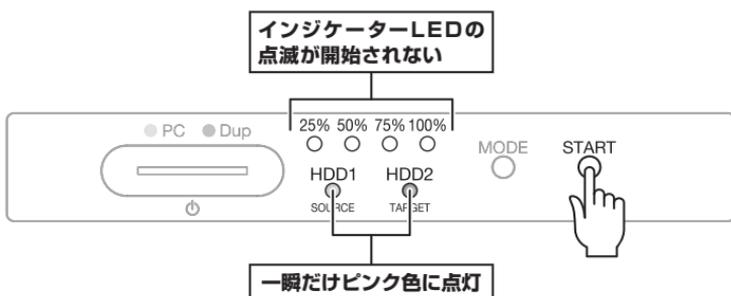
コピーが開始されない、またはコピーが途中で止まってしまう場合は次のような原因が考えられます。

■コピーが開始されない

どちらかのディスクに異常がある、またはコピー先のディスク容量がコピー元のディスク容量より少ない場合、コピーは開始されません。

異常のあるディスクを交換するか、コピー先をディスク容量の大きい物に交換してください。

～コピーが開始されない時の挙動～

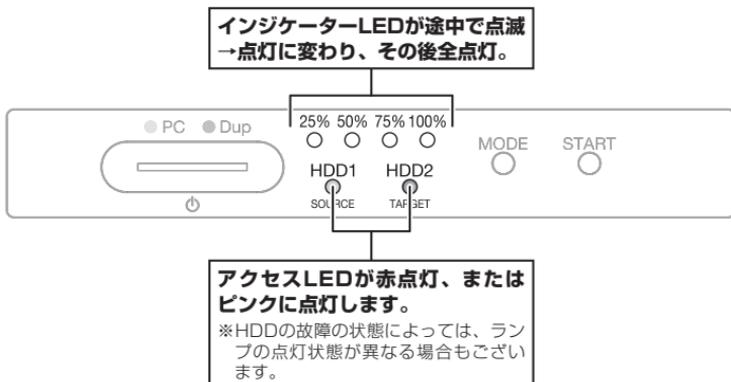


■コピーが途中で止まる

コピー元かコピー先に不良セクタがあると、コピーが途中で止まります。この場合、本製品の電源をOFFにして、ディスクチェックソフト等でディスクチェックを行ってください。

※本製品のディスクコピー機能はディスク双方に不良セクタ、不良ブロックがある場合、コピーできません。あらかじめご了承ください。

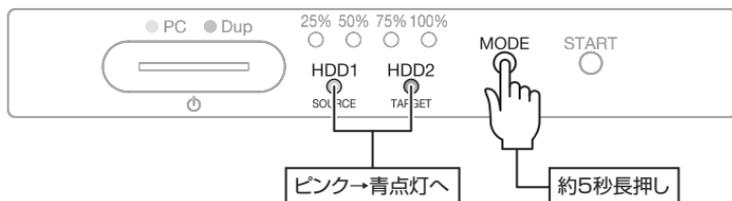
～コピーが途中で止まる時の挙動～



■コピーを途中で中止するには？

コピーを途中で中止したい場合、MODEボタンを約5秒長押しすると、コピーが中止されます。再度コピーを開始しても、中止した所から再開されず、先頭からのコピーになりますので、やむを得ない事情がない限りコピーを中止しないでください。

～コピーを途中で中止するには～



【トラブルシューティング】

主なトラブルの対処方法を説明いたします。

「故障かな?」と思われる場合は、以下をお読みのうえ、記載されている対処方法をお試しください。

■認識されない

→以下の点をご確認ください。

- 各接続ケーブル、ACアダプターが正しく接続されているか
- 電源ボタンのLED、ドライブアクセスLEDが点灯しているか
- **Windows XP に2TB超のHDDを接続した場合、OS側の仕様で認識されません。2TBまでのHDDをご使用ください。**

■スリープ、スタンバイ、休止状態から復帰するとフリーズする、アクセスできない

→本製品はWindows、Macともに、スリープ、スタンバイ、休止状態に対応しておりません。

スリープ、スタンバイする前に取り外しを行ってください。

■USB接続時にUSB2.0として認識してしまう

→本製品の電源をONにしたままUSBケーブルを接続すると、接続するタイミングによってUSB2.0機器として認識してしまう場合があります。

本製品の電源はOFFの状態でごケーブルを接続し、電源スイッチをONにしてください。

■USB3.0接続時、認識が不安定になったりHDDが断続的に回転・停止をくり返す

→USB3.0ホストコントローラのドライバが最新の物になっているかご確認ください。

また、本製品はETron製USB3.0ホストコントローラでは動作しませんのでご注意ください。

■2TB超のボリュームを作成したが、フォーマットしようとする2TBで分割されてしまう(Windows 8/Windows 7/Windows Vista)

→2TBを超えるボリュームを使用する場合は、HDDの初期化形式をGPT形式にする必要があります。

MBR形式で初期化を行っていないか確認してください。

■CROS2U3CPからOSが起動しない

→OS起動はサポートしておりません。

■新しいHDDをセットしたが、マイコンピュータ内(Windows)、デスクトップ(Mac)にHDDのアイコンが表示されない

→新しいHDDは接続後、領域の確保とフォーマットの作業が必要となります。

【領域の確保とフォーマット】または【Macでの使用方法】を参照して初期化の作業を行ってください。

- Windowsでお使いの場合→P.15【領域の確保とフォーマット】をご確認ください。
- Macでお使いの場合→P.27【Macでの使用方法】をご確認ください。

■2TBのHDDを接続したのに、認識される容量が1.8TB程度になってしまう

→計算方法の違いはないか、ご確認ください。

ほとんどすべてのハードディスクドライブメーカーは、公称容量を

- **1MB = 1,000,000 バイト**

で計算した値で示しています。それに対し、一般的には、

- **1KB = 1024 バイト**
- **1MB = 1024 × 1024 = 1,048,576 バイト**
- **1GB = 1024 × 1024 × 1024 = 1,073,741,824 バイト**
- **1TB = 1024 × 1024 × 1024 × 1024 = 1,099,511,627,776 バイト**

です。

たとえば2TBと表示されているドライブの場合、これを一般的なTBに換算してみますと、

- **$2,000,000,000,000 \div 1,099,511,627,776 = \text{約 } 1.8\text{TB}$**

となり、200GB程度少なくなることがお分かりいただけると思います。

このような計算方法が(ハードディスクドライブメーカーでは)一般的となっておりますので、ご理解をお願いいたします。

[FAQ]

Q：使用できるHDDの最大容量は？

A：4TB（テラバイト）までとなります。（2014年2月現在）

Q：カードリーダーのようにドライブを抜き差しして使うことは可能ですか？

A：残念ながらできません。本製品はあくまでドライブアダプターですので、電源を切った上で抜き差しをする必要があります。

電源を入れた状態でドライブを抜き差しすると、正常に認識しないばかりか、本製品ならびにドライブを故障させる可能性があります。

Q：着脱可能回数は何回ですか？

A：本製品に装備されているコネクタの耐久性は約10,000回となっております。

ドライブ側にもそれぞれ同様の耐久性が設定されておりますので、くわしい着脱可能回数はドライブの製造メーカーにお問い合わせください。

Q：他の機器で使用していたデータの入ったHDDを入れて、そのままデータにアクセスできますか？

A：基本的には使用可能ですが、以前ご使用いただいていた環境によってはご使用になれない場合があります。

ご使用になれない場合は、フォーマットを行う必要があります。不慮の事故によるデータの消失を避けるためにも、データが入ったHDDを接続する場合は必ずバックアップをとってからの作業をお願いいたします。

Q：HDDにアクセスしていないのに、ドライブアクセスLEDが点滅します。故障ですか？

A：ウイルススキャンや各ソフトのアップデートチェック、インデックス作成等、OSのバックグラウンド処理で本製品のHDDにアクセスする場合があります。

Q：S.M.A.R.T情報が表示されない

A：SMARTを参照するソフトによって対応が大きく異なり、表示できるものとできないものがあるようです。弊社では表示に対応しているツールの提供はございません。

〈MEMO〉

【コピーモード時のFAQ】

Q：異なる容量のHDDでもコピー可能ですか？

A：可能です。異なる容量でコピーする場合、必ずコピー先HDDの容量がコピー元HDDの容量よりも大きな物でなければなりません。

Q：異なる容量のHDDにコピーした場合、余った容量はどうなりますか？

A：コピーモードはHDDのパーティションをそのままコピーします。

500GBHDDから1TBHDDへコピーした場合、500GBはそのままコピーが行われ、残り500GB分が空き容量となります。

空き容量が利用可能かどうかはコピーしたOSによって異なります。

• Windows 8/7/Vista/XP の場合

ディスクの管理で余った容量に対して追加でパーティションを作成、利用可能です。

※Windows環境ではパーティションを編集するソフトウェアが販売されております。

そういったソフトウェアを利用することで、空き領域を利用することが可能な場合もございます。

• Macの場合

残念ながら利用する方法はございません。

Q：異なる回転数、モデルのHDDでもコピー可能ですか？

A：可能です。

Q：SSDからHDDへのコピーは可能ですか？

A：可能です。

Q：Linux、HDDレコーダー、カーナビ等のサポート外OSで使用しているHDDでもコピー可能ですか？

A：コピーモードはセクタ単位のコピーを行うため、HDD内のファイルシステムやデータフォーマットを判別しておりません。そのため、コピーモードでHDDのクローンを作成することは可能です。まったく同じ容量、メーカー、銘柄のHDDであればそのまま起動も可能ですが、容量が異なるHDDにコピーした際のOSの扱いがどのようになるかは未検証ですので、お客様の責任において行っていただきますようお願いいたします。

その他、コピー防止等の機能、プログラムの存在により動作しない場合もございます。

あらかじめご了承ください。

Q：不良セクタのあるHDDでもコピー可能ですか？

A：残念ながらコピーできません。読み込みないし書き込みエラーが発生した現在で、エラーとなってコピーが停止します。セクタスキップ等は行いません。

Q：メーカーAの2TBHDDからメーカーBの2TBHDDへコピーができないのですか？

A：同じ2TBHDDでもメーカーによって細かい容量が異なります。コピーモードでは1バイトでもコピー元が大きな容量ですとコピーができません。

また、同じ型番のHDDでもロット差により細かい容量の差がある場合がありますのでご注意ください

Q：SCSIのHDDをコピー可能ですか？

A：対応しておりません。

Q：PC内蔵HDDをUSB接続状態でコピー可能ですか？

A：PCに内蔵したままではコピーモードを使用することはできません。

コピーモードを使用する場合、必ずHDDをコンピュータから取り出して直接CROS2U3CPIに接続しなければなりません。

Q：コピー元のHDDの使用済み容量が少ないのですが、これをコピー元よりも小さなHDDにコピーできますか？

A：残念ながらできません。

使用していない領域もコピーを行いますので、必ずコピー先HDDはコピー元HDDよりも大きな容量でなければなりません。

〔例〕



【コピーモード時のFAQ】(つづき)

Q：コピーにかかる時間はどのくらいですか？

A：コピーを行うHDDによっても異なりますが、約2GB～3GB/分のコピーが可能です。

Q：コピーする前にコピー先HDDをフォーマットしておく必要はありますか？

A：必要ありません。コピー元HDDのファイルシステム、フォーマットで上書きされますので、コピー先HDDの内容はどのようなフォーマットを行ってあっても消去されます。

Q：インジケータがコピー中を示していますが、コピーがいつまでたっても終わりません。

A：HDDにエラーがある場合、基本的にはインジケータが全点灯し、エラー状態であることを示しますが、HDDの故障状態によってはコピー中の表示のまま止まってしまう場合もあります。HDDの容量とコピー時間の目安（P.32参照）から、異常に長い間コピーが終了しない場合、コピーを中断してディスクチェックソフト等でディスクチェックを行ってください。

Q：差分バックアップは可能ですか？

A：対応しておりません。すべて先頭からの全領域コピーとなります。

Q：パソコンから抜き出したHDDをコピーして入れ替えたが起動しません。

A：パソコンによっては、保守用の特殊なパーティションがあり、HDDを変更したことにより動作に支障が出る場合があります。

残念ながらこの場合は、コピーは行っても起動には使えない状態となってしまいます。あらかじめご了承ください。

〈MEMO〉

【サポートのご案内】

【販売・サポート】

株式会社 センチュリー



CENTURY

■サポートセンター

〒277-0872 千葉県柏市とよふたおきなほら十余二翁原240-9

【TEL】04-7142-7533

(平日 午前10時～午後5時まで)

【FAX】04-7142-7285

【Web】 <http://www.century.co.jp>

【Mail】 support@century.co.jp

～お願い～

修理をご依頼の場合、必ず事前にサポートセンターにて受付を行ってから
発送をお願いいたします。

アンケートにご協力をお願いします

センチュリー商品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。
今後の商品開発などの参考にさせていただきますので、下記URLにてアンケートの入力を
お願いいたします。
どうぞよろしくお願いいたします。

～弊社商品につきましたのアンケート～

【URL】 <http://www.century.co.jp/que.html>



— 本書に関するご注意 —

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
2. 本書の内容については、将来予告なく変更することがあります。
3. 本書の内容については万全を期して作成いたしましたですが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点がございましたらご連絡ください。
4. 運用した結果の影響については、【3.】項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
5. 本製品がお客様により不適當に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはセンチュリーおよびセンチュリー指定のもの以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

※記載の各会社名・製品名は各社の商標または登録商標です。

※This product version is for internal Japanese distribution only.

It comes with drivers and manuals in Japanese.

This version of our product will not work with other languages operating system and we provide help support desk in Japanese only.